【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公表番号】特表2014-513948(P2014-513948A)
【公表日】平成26年6月19日(2014.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2014-032
【出願番号】特願2014-506508(P2014-506508)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/071　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0789　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0775　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0735　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0797　(2010.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/12　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　5/00　１０２
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ａ
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ｑ
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ｈ
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ｃ
Ｃ１２Ｎ　5/00　２０２Ｔ
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｈ
Ａ６１Ｋ　35/12
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　7/00
Ａ６１Ｐ　7/06
Ａ６１Ｐ　9/04
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｐ　19/00
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　31/00
Ａ６１Ｐ　37/02
Ａ６１Ｐ　37/06
Ａ６１Ｋ　48/00

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月8日(2015.4.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
β２ミクログロブリン（Ｂ２Ｍ）遺伝子に遺伝子組換え改変を含む単離細胞であって、前記細胞が霊長類細胞である、単離細胞。
【請求項２】
前記細胞が、前記Ｂ２Ｍ遺伝子のすべてのコピーの遺伝子組換え改変を含む、請求項１に記載の細胞。
【請求項３】
前記細胞がヒト細胞である、請求項１または２に記載の細胞。
【請求項４】
前記細胞が、１つ以上の組換え免疫調節遺伝子をさらに含み、それぞれが、前記細胞において免疫調節ポリペプチドを発現することができる、請求項１～３のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項５】
前記１つ以上の免疫調節遺伝子が、１本鎖融合ヒト白血球抗原（ＨＬＡ）クラスＩタンパク質をコードすることができるポリヌクレオチドを含む、請求項４に記載の細胞。
【請求項６】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、ＨＬＡ－Ａ、ＨＬＡ－Ｂ、ＨＬＡ－Ｃ、ＨＬＡ－Ｅ、ＨＬＡ－Ｆ、およびＨＬＡ－Ｇからなる群から選択されるＨＬＡクラスＩα鎖の少なくとも一部に共有結合したＢ２Ｍの少なくとも一部を含む、請求項５に記載の細胞。
【請求項７】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部ならびにＨＬＡ－Ｅ、ＨＬＡ－Ｇ、およびＨＬＡ－Ａからなる群から選択されるＨＬＡクラスＩα鎖の少なくとも一部を含む、請求項５に記載の細胞。
【請求項８】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ａの少なくとも一部を含む、請求項５～７のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項９】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ａ０２０１の少なくとも一部を含む、請求項５～８のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項１０】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ｅの少なくとも一部を含む、請求項５～７のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項１１】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ｇの少なくとも一部を含む、請求項５～７のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項１２】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ｂの少なくとも一部を含む、請求項５または６に記載の細胞。
【請求項１３】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ｃ

の少なくとも一部を含む、請求項５または６に記載の細胞。
【請求項１４】
前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質が、Ｂ２Ｍの少なくとも一部およびＨＬＡ－Ｆの少なくとも一部を含む、請求項５または６に記載の細胞。
【請求項１５】
前記細胞が、前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質によって前記細胞の表面に提示される標的ペプチド抗原をさらに発現する、請求項５～１４のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項１６】
前記標的ペプチド抗原が、前記１本鎖融合ＨＬＡクラスＩタンパク質に共有結合している、請求項１５に記載の細胞。
【請求項１７】
前記細胞が、自殺遺伝子産物をコードすることができる１つ以上の組換え遺伝子をさらに含む、請求項１～１６のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項１８】
前記自殺遺伝子産物が、チミジンキナーゼおよびアポトーシスシグナル伝達タンパク質からなる群から選択されるタンパク質を含む、請求項１７に記載の細胞。
【請求項１９】
前記細胞が正常核型を有する、請求項１～１８のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項２０】
前記細胞が非形質転換細胞である、請求項１～１９のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項２１】
前記細胞が幹細胞である、請求項１～２０のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項２２】
前記幹細胞が、造血幹細胞、胚性幹細胞、人工多能性幹細胞、肝幹細胞、神経幹細胞、膵幹細胞、および間葉幹細胞からなる群から選択される、請求項２１に記載の細胞。
【請求項２３】
前記幹細胞が多能性幹細胞である、請求項２１または２２に記載の細胞。
【請求項２４】
前記幹細胞が分化している、請求項２１～２３のいずれか１項に記載の細胞。
【請求項２５】
前記分化細胞が、樹状細胞、膵島細胞、肝細胞、筋細胞、ケラチノサイト、神経細胞、造血細胞、リンパ球、赤血球、血小板、骨格筋細胞、眼細胞、間葉細胞、線維芽細胞、肺細胞、消化管細胞、血管細胞、内分泌細胞、脂肪細胞、および心筋細胞からなる群から選択される、請求項２４に記載の細胞。
【請求項２６】
請求項１５または１６に記載の細胞を含むワクチンであって、前記標的ペプチド抗原に特異的な免疫応答を霊長類で誘発することができる、ワクチン。
【請求項２７】
前記霊長類がヒトであり、前記細胞がヒト細胞である、請求項２６に記載のワクチン。
【請求項２８】
請求項１～２５のいずれか１項に記載の細胞を含むキット。
【請求項２９】
移植片をさらに含み、前記移植片が、請求項１～２５のいずれか１項に記載の細胞を含む、請求項２８に記載のキット。
【請求項３０】
前記細胞がヒト細胞である、請求項２９に記載のキット。
【請求項３１】
免疫アジュバントをさらに含む、請求項２６に記載のワクチンを含むキット。
【請求項３２】
前記細胞がヒト細胞である、請求項３１に記載のキット。